



《発行》 第197号

神辺地域振興課(神辺支所内)

電話 084-962-5026

「ゆうひ」は、福山市ホームページでもご覧いただけます。



人権問題講演会 誰もが幸せに暮らせる社会をつくるために

【人権・社会教育活動事業】

講座報告

～人権についてアップデートしてみよう！～

7月4日(土) かなべ市民交流センターにおいて、福山市人権擁護委員、福山市中国帰国者をささえる会代表の客本牧子さんをお迎えし、2025年に改定された人権施策の根幹となる「福山市人権施策基本方針」「福山市多文化共生プラン」をもとに、誰もが幸せに暮らせる社会の実現や、だれ一人取り残さないまちづくりの実現のために自分ができることは何なのかを主眼として、人権問題講演会を開催しました。

『人権』とは、すべての人が生まれながらに持っているもので、どんな『人権』があるのか知ることや知ろうとすることがとても大切であると話されました。そして講師が代表をされている日本語教室「ふ〜じゅ」での活動についても触れられ、福山市での外国人市民の占める割合は全人口の3%(34人に1人)となり、外国人市民は「支援を受ける人」日本人は「支援する人」ではなく、「ともにまちをつくるなかま」である。ふ〜じゅでは「おたがいさま」「排除しない」ということを大切にして、草の根の国際交流を続けている。

参加者アンケートからは「共生社会の中でお互いをおもいやる心を大事に生活していきたい」「改めて学び続けることの必要性が分かった。」などの感想が寄せられた。

最後に、人を見る目と心をゆがめてしまうのは、無意識の思い込みであり、これからも「わ



かりたい。伝えたい。」という気持ちを持ち、3つの「つ」①「つどう」②「つながる」③「つづける」ことで人権条例を活かしたまちづくりをしていくために自分自身も『人権』について、常にアップデートしていきたいと思える講演会でした。今後も人権に関する講座や啓発活動に努めてまいります。

神辺を見つめて

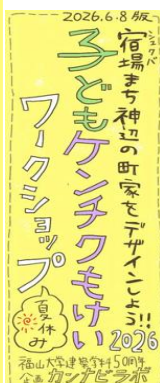
～アジサイの丘～

下竹田のH.Yさんが、10年越しで造られている「アジサイの丘」と呼ばれている名所があります。今年も大きな色とりどりのアジサイの花が山裾一杯に咲き誇っていました。



提供 神辺美術協会(S.T)

こどもケンチュクもけいワークショップ



建築家と建築を学ぶ大学生たちと共に神辺らしさをとりいれた新しい町家をデザインし、建築模型を作りませんか？

【とき】 8月9日(日) 第一部 9:00～12:10(受付8:30～)

第二部 13:00～16:10(受付12:30～)

【ところ】 学校法人福山大学神辺駅前サテライトキャンパス「神な備-旧松本家住宅-」
(神辺町川南3253-1)

【対象】 小学校4年生以上 【定員】 各部10名【費用】 500円(材料代、保険料込み)

【申込】 神辺交流館 084-963-4050

※名前、学校名、学年、1部or2部、保護者氏名、連絡先(災害等で中止の場合の連絡先)をお伝えください。

かなべ図書館

TEL084-962-5053

夏休み工作教室
おはようハト時計をつくろう！

牛乳パックや画用紙などを使って、ハトが飛び出す時計のおもちゃを作る。

夏休みの工作にもぴったり！



かなべ図書館キャラクター
ホン・ダーナ

日 時 8月2日(日)

14時から14時40分

ところ かなべ図書館 会議室

対 象 小学生(低学年の場合は保護者同伴)

定 員 12名(先着)

申込み方法 7月12日(日曜日)

10時から来館または電話で

展示 「すたんぷ・スタンプ・stamp
～印影の世界～」

7月22日(水)～8月17日(月)

郵便の消印(風景印)、御朱印、駅スタンプなど、私たちの周りにある様々なスタンプを紹介する。

あわせて、関連本の展示・貸出しを行う。

見ても 集めても 作っても

楽しいスタンプ大集合！

【開館時間】

月～金 10時～19時 / 土・日・祝 10時～18時

【7月・8月の休館日】 7/21(火)・8/18(火)

ゆうひのまちから アンコンシャスバイアスは、無意識の思い込みや偏見と訳され、徐々に認知も広がっている。私たちは案外、この思い込みによって言動が支配されていることが多い。というのも、この思い込みというものは「脳のショートカット」的なものであり、日常生活では欠かせないものでもあるからだ。

「つうと言えばかあ」とか「打てば響く」と言った慣用句に見られるように、グループ内では全てを語らなくても通じるため、思い込みはある種便利な代物でもある。

東京オリンピックの開会式で披露された「ピクトグラム」は正にその典型で、言葉が通じなくても試合会場を案内することができる。元々、1964年の東京オリンピックの際に通訳不足を解消するために考案されたものだという。

このように既知の事実に対しては大変有効であるため、私たちはこの「脳のショートカット」である「思い込み(先入観)」を多用することになる。

しかし、気を付けなければならないのが、「既知の事実」に対してグループ内では有効である反面、グループ外や認知されていないことには効果がない。それどころか、相手を非難し傷つけかねないものであることを理解しておく必要がある。アンコンシャスバイアスが問題視される所以はここにある。自分の認識の中にある(知っている・経験している)ことは寛容に受け入れるが、認識の外にある(知らない・経験したことがない)ことには否定的に対応し、自己の無知を覆い隠そうとする。この防衛反応が相手を否定し、傷つけてしまう。

また、知っていることでも、多くは昔の記憶であり、当時の社会情勢では常識とされていたものでも、今では非常識といったものも多い。例えば喫煙。私の若い頃はどこにでも灰皿があり、職場の仕事机で喫煙できた。今ではあり得ない話であるが、当時はそうであった。その事実をもって「昔は良かった」と言っても時代錯誤でしかない。常識を上書きしながら、時代に即した認識に改めていかなければ、成長し続ける世の中の常識とのギャップは埋まらず、アンコンシャスバイアスとなって現れてしまう。

住民学習会に毎年参加する人の人権意識が高いのは、ギャップを学習会に参加することによって毎年埋めているからなのだろう。福山市市民意識調査結果はそう物語っている。